

# 鳥羽シアワセ研究所

vol.5

企画経営室

☎(25) 1101

(地域活性化起業人 難波潤史)

## 子や孫のために。 未来は自分たちの手で

岡山県の最北東にある人

□1300人余りの小さな村、西粟倉村。いわゆる平成の大合併で、隣接する東粟倉村をはじめいくつかの町村が合併し、新たに「美作市」が誕生しましたが、西粟倉村は合併に参加しませんでした。合併による財政基盤安定など、さまざまなメリットが声高に語られていた中で、拒否は当時ニュースにもなりませんでした。地元でも当然、賛否両論あつたでしょう。あれから20年近くがたちましたが、西粟倉村は地域再生の成功例と紹介されることもあり、小さいながらもキラリと光る存在感を示し続けています。

市町村合併の是非は別に、ここでみなさんにお伝えしたいキーワードが二つあります。西粟倉村の合併拒

否後のキーワードは「自立」と「子や孫のために」だと言えます。

合併を拒否する選択をした西粟倉村が地域再生の成功例と言われるまでには、大変な苦勞もあつたはず。それを支えたのは「合併拒否は自分たちで選んだ道。だからこれから自分たちで決めて、自分たちでやっていくしかない」という覚悟だと思います。1300人の村民しかおらず、決して財政的にも豊かではない村で、自分たちでできることを追い求める。「誰かがなにかをしてくれる」は通じないことが大きな力を生み出し、村の自立がはじまったのでしょうか。他人任せにできない、は自立の原動力となります。

村がめざしたものは、西粟倉村ホームページの「百年の森構想」からうかがい知れます。鳥羽市の地域共生社会づく

くりにも参考になりますので一部抜粋させてもらいます。「地域には捨ててはいけないものがあります。約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想い。その想いを大切にして(中略)そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦しようと思えました。小さな村だからこそ、未来へ向けて心と心を丁寧につなぎあわせていくことができるはずです」

地域には地域の数だけ事情、課題がありますので、西粟倉村の成功例がそのまま全国展開できるわけではありませんが、二つのキーワードから導かれる「子や孫のために、誰かに任せず自分たちにながでできるかを考え行動する」姿勢は、どの地域にもあてはまることではないでしょうか。2040年まであと17年となりました。次の世代、その次の世代が幸せに暮らせるまちをめざして何をすべきか、みんなで考えていきましょう。

とばびと  
活躍  
プロジェクト

# トバゴト

Vol.20



トバゴトQRコード

健康福祉課長寿介護係

(生活支援コーディネーター 杉浦徹)

☎(25) 1186

## キーワード

#買い物支援  
#ネットスーパー

先日、インターネット上のネットスーパーを用いて、高齢者のかたの買い物を支援する試みを実施しました。ネットスーパーの買い物画面を大きなモニターに映し、あらかじめ書いてもらった「欲しい物リスト」をみながら、欲しいものを一緒に探すという方法で行いました。たとえば、「欲しいものがバナナであれば「バナナ」と検索し、お店によってはメーカーや内容量、料金などが違うバナナが何種類も出てくるため、その中からご自身で購入する品を選んでいただきます。このように、ネットスーパーを用いることで、画面を通じてとなりますが、自分の「目」で確かめた商品を購入する機会が生まれました。また、今回のネットスーパーでの買い物支援では、大きな画面を仲間や知人と共有することで、にぎ

やかな会話が生まれ、今まで気づいていなかった商品などに出会う機会にもなっていました。お店や移動販売などの買い物をする場を利用することが難しい場合、ネットスーパーの利用は大変便利になります。しかし、高齢者のかたが、1人でインターネットやスマートフォンを用いて買い物をするのは、まだまだ難しいのが現状かもしれません。だからこそ、今回のような試みを実際場で繰り返し行い、ネットスーパーを高齢者が使う強みや課題を見つけ、考えていくことが大切だと思えました。また、高齢者のかたがスマホ教室などへ参加し、デジタルへの対応力を身に付けていただく場づくりの大切さもあらためて感じました。

